

## 社会実験の概要

期間：平成26年9月10日(水)～平成27年2月28日(土)

内容：乗り場付近の車道本線上の客待ちタクシーの待機車両を解消し、紙屋町交差点南側の国道54号での交通渋滞の緩和や、乗り場付近の交通事故の軽減など交通環境改善を図るため、タクシー乗り場(基町クレド前)から離れた2箇所にタクシー待機場を設置、ショットガン運用を実施することで、以下の効果を検証。(待機場は、歩行者空間を削減せずに道路空間の再配分により、市道上に確保)

乗り場周辺道路上の客待ちタクシーの待機列の状況や紙屋町交差点付近の交通環境改善効果を検証

待機場周辺における道路空間の再配分による自動車交通等への影響やショットガン運用ルールの遵守など、ショットガン方式の実効性を検証



待機場から乗り場への誘導は、乗り場にカメラを設置し、待機場に配置した連絡要員がタブレット端末で乗り場の空き状況を確認し、誘導

■待機場実験地1の道路断面

実験前	車道部 3250	車道部 3250	歩道部 4500
実験中	タクシー待機所 1000	車道部 2000	歩道部 250
	待機場1	車道部 3250	歩道部 4500

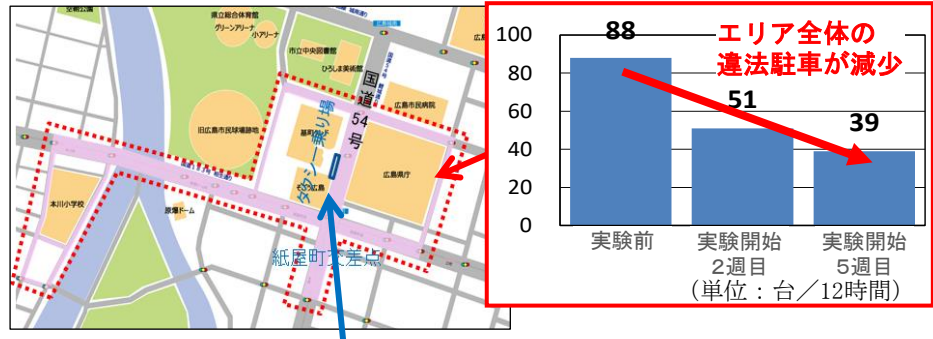
■待機場実験地2の道路断面

実験前	歩道 3.0m	車道 4.5m	車道 4.5m	歩道 3.0m	
実験中	歩道 3.0m	待機場 2.0m	車道 3.5m	車道 3.5m	歩道 3.0m
		待機場2			

## 実験結果

- ・基町クレド前の客待ちタクシーの違法駐車が消滅
- ・周辺道路において客待ちタクシーの違法駐車が減少

- ・客待ちタクシーの違法駐車解消により、国道54号紙屋町交差点北行き自動車交通の走行環境が改善



## 本格実施に向けた課題

- ・乗り場へのアクセス向上による対処
- ・割り込み抑制措置による対処
- ・タクシー待機場周辺の合意形成
- ・タクシー待機場駐車枠の拡大検討
- ・ショットガン方式の運用日、運用時間帯の検討
- ・違法駐車対策として設置しているポストコーンの撤去等による降車スペースの拡大
- ・維持管理費の負担増に伴う参加事業者の負担方法の再検討